様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和　７年　７月　１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人宇部観光コンベンション協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山口県宇部市	
所在地	山口県宇部市常盤町一丁目 6 番 44 号	
設立時期	１９９６年　６月　宇部観光コンベンション協会　発足 ２０１２年　４月　一般社団法人宇部観光コンベンション協会　設立	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	６人【常勤６人（正職員３人・出向等３人）、非常勤０人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 柳田　英治 （出身組織名） （株）やなぎだ	1996 年入会以来、地域の事業者の先頭に立ち、様々な取り組みで地域の観光振興に貢献。2008 年から 2022 年まで当協会の副会長を歴任後、2022 年 6 月に当協会の会長に就任した。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）及び業務執行全般の責任者	（氏名） 庄賀　美和子「専従」 （出身組織名） 宇部市	宇部市観光・シティプロモーション推進部長等を歴任後、2023 年 4 月に当協会の事務局長、同年 6 月に専務理事に就任。行政と民間事業者との連絡調整能力等を有する。協会の持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー）	（氏名） 佐々木　正志「専従」 （出身組織名） （一社）宇部観光コンベンション協会	旅行業界やホテル業界での経験を活かし、着地型商品開発や観光企画及びマネジメント、観光地域マーケティングについての業務を担う。 GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism (August, 2023)
ウェブデータ収集の責任者（専門人材）	（氏名） 高野　敦「専従」 （出身組織名） （一社）宇部観光コンベンション協会	当協会のウェブ担当者として、ウェブサイト等を活用した情報発信プロモーションやウェブデータ収集において高い知見と能力を持つ。
プロモーションの責任者（専門人材）	（氏名） 吉原　千穂「専従」 （出身組織名） （一社）宇部観光コンベンション協会	豊富な観光知識と経験、幅広い人脈を持ち、当協会の誘客プロモーションの中心的な役割を担って、国内外に向けた観光客誘致に従事している。

様式１

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	【宇部市】 〇観光スポーツ文化部 （観光施策の企画立案、観光動態調査、観光施設の維持管理、ときわ公園の管理運営、プロスポーツ等との連携、文化振興、ＵＢＥビエンナーレ、彫刻維持管理、ＭＩＣＥ誘致、広域連携の推進） 〇総合政策部 （移住定住、ふるさと納税、ＳＤＧｓ推進、シティプロモーション、広報活動、広域連携、北部地域振興（中山間地域づくり、うべＫＩＴＡまつり、アクトビレッジおの） 〇市民環境部 （市民活動の推進、地域コミュニティ、環境保全） 〇健康福祉部 （バリアフリー） 〇産業経済部 （商業振興、地域ブランド、水産振興、農業振興、宇部港活性化） 〇都市政策部 （景観維持、ガーデンシティ構想、公園管理、交通政策、中心市街地活性化） 〇教育委員会 （文化財保護、文化財活用推進） 【山口県】 〇観光スポーツ文化部観光政策課・観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進室・ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ推進室 （観光施策の企画調整、観光客の誘致、観光資源及び物産の振興） 〇観光スポーツ文化部交通政策課 （交通運輸施策の企画及び調整等） 〇総合企画部中山間地域づくり推進課 （中山間地域等の振興、地域滞在型交流の促進、ワーケーション等）
連携する事業者名及び役割	【受入体制構築】 宇部旅館ホテル生活衛生同業組合、 山口県飲食業生活衛生同業組合宇部支部、宇部市商店街連合会、 公益財団法人宇部市常盤動物園協会、宇部市ふるさとコンパニオンの会 【商工振興・経営支援】 宇部商工会議所、くすのき商工会 【特産品・体験型プログラム・着地型商品開発】 山口県農業協同組合宇部統括本部、宇部市漁業協同組合連合会、 新宇部漁業協同組合、山口県赤間硯生産協同組合、小野茶業組合、 有限会社たましげ、株式会社永山本家酒造場、楠むらづくり株式会社、 アクトビレッジおの、一般社団法人宇部市スポーツコミッション、 公益財団法人宇部市スポーツ協会、公益財団法人宇部市文化創造財団、 山口県菓子工業組合宇部支部、岐波観光開発協会、 地区コミュニティ推進協議会、大学・高等専門学校、 一般社団法人山口県旅行業協会 【アクセス改善】 西日本旅客鉄道株式会社山口支社、宇部市交通局、 船木鉄道株式会社、宇部タクシー協会、山口宇部空港ビル株式会社 【広域連携】 宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 山口県央連携都市圏域推進協議会 一般社団法人山口県観光連盟（やまぐちＤＭＯ） 一般社団法人せとうち観光推進機構（せとうちＤＭＯ）

様式１

<table>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td>【該当する登録要件】①
（概要）
幅広い分野の関係団体（観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、行政、文化・スポーツ関係者、飲食事業者、商工団体等）の代表者２１名が、当協会の役員となり、年４回程度開催するする理事会において、持続可能な観光地域づくりを構築するために、戦略の策定や見直し、受入環境の整備、戦略の整合性に関する調整や仕組みづくり等について、意見交換と意思決定を行う。
（構成：会長１名・副会長３名・理事１５名・監事２名／全員地域関係者）</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>〇講演会、研修会、ワークショップなどの開催
学生も含めた市民及び関係者を対象として、観光地域づくり、観光プロダクト、各種ツーリズム、人材育成（おもてなし・案内）等をテーマとしたセミナーや出前講座を実施し、観光への参画を促進する。
〇情報公開・共有
観光地域づくりに関する情報を市民に公開し、理解と関与を確保する。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】

持続可能な観光地域づくりに向け、事業方針に沿って、次の５項目を重点施策として取り組む。
１　ＤＭＯ　ＵＢＥの形成・確立に向けた、
マネジメント機能とマーケティング機能の充実強化
２　コンベンションを中心に
ＭＩＣＥの誘致と受入・支援体制のさらなる強化
３　インバウンド向けのコンテンツの創出・販売、情報発信
４　山口デスティネーションキャンペーン（山口ＤＣ）に向けた
着地型商品の造成と販売による誘客拡大
５　効果的な情報発信による本市の認知度向上

〇令和５年度事業報告（抜粋）
<table><tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr><tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>■コンベンション誘致強化事業
・令和６年度中国・四国地区ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ誘致懇談会
■フィルムコミッション推進事業
・ＪＦＣ全国ロケ地フェア 2024、2025
■インバウンド推進事業
・山口県合同商談会
・インバウンド向け Instagram、ウェブサイト（英語）
・海外に向けたＳＮＳ広告
・インバウンド向けパンフレット（英語・繁体字）
・香港ブックフェア 2024
・主要交通拠点の観光案内所（ＴＩＣ　ＴＯＫＹＯ）
・モニターツアー、ＦＡＭツアー
・３ＤＶＲ映像
■観光宣伝事業
・OUTLETS　HIROSHIMA
・広島バスまつり
・ファーストリテイリング有明本部ファミリーデー
・中国自動車道美東ＳＡ、下松ＳＡにパンフレット配架
■ウェブサイト・ＳＮＳ開発・会報発行事業
■観光大使派遣選出事業</td></tr></table></td></tr>
</table>

	受入環境の整備	■コンベンション大会歓迎事業 ■コンベンション開催助成事業 ■グルメガイド作成事業 ・グルメ＆ナイトスポットガイド Vol.25 発行 ■ホスピタリティ推進委員会事業 ■インバウンド推進事業 ・ローカルガイドフォローアップ研修 ・ローカルガイドによる外国人旅行者へのガイド実践 ・持続可能な観光にかかる研修受講 ■ときわ公園観光推進事業 ■観光案内所事業
	観光資源の磨き上げ	■インバウンド推進事業 ・インバウンド向けコンテンツ 開発及び商品化 ■宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会事業 ・令和６年度産業観光バスツアー ■着地型商品開発・販売事業 ・募集型企画旅行 開発及び販売 ・着地型旅行商品「うべの魅せどころ」 ■広域観光連携事業

【定量的な評価】

▼会員数　307（2025/6/30 現在）

▼コンベンション延べ参加者数

2020（R2）年	240 人
2021（R3）年	270 人
2022（R4）年	2,236 人
2023（R5）年	4,310 人
2024（R6）年	3,323 人

▼産業観光バスツアー参加者数

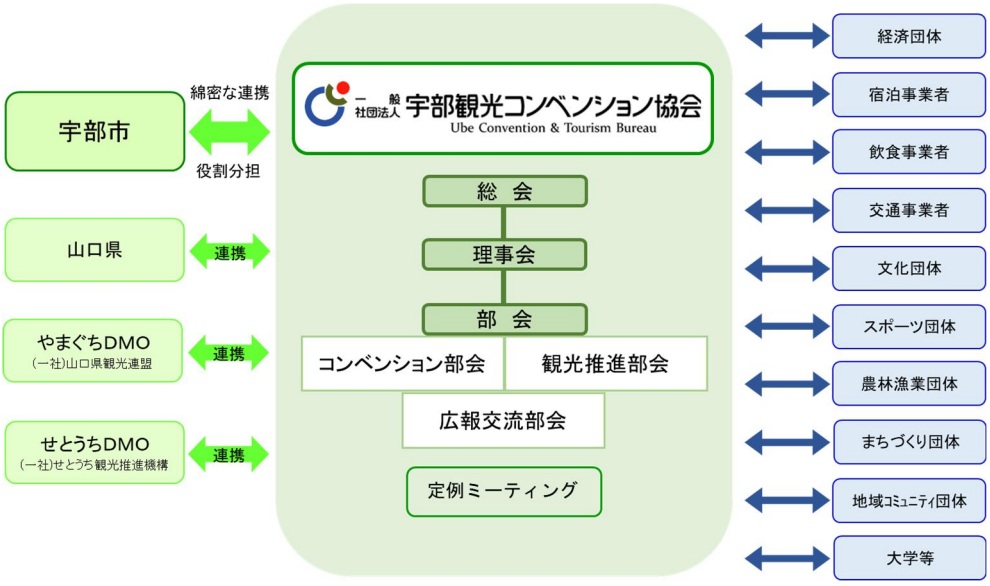
2020（R2）年度	26 人	※募集型旅行は中止
2021（R3）年度	124 人	[募集定員 210 人]
2022（R4）年度	174 人	[募集定員 252 人]
2023（R5）年度	238 人	[募集定員 378 人]
2024（R6）年度	223 人	[募集定員 266 人]

▼着地型旅行参加者数

2020（R2）年度	50 人
2021（R3）年度	73 人
2022（R4）年度	70 人
2023（R5）年度	132 人
2024（R6）年度	72 人

▼ウェブサイトアクセス数　― 協会公式サイト「うべ旅ナビ」 ―

2020（R2）年度	訪問数	86,537	ページビュー数　195,953
2021（R3）年度	訪問数	100,735	ページビュー数　214,370
2022（R4）年度	訪問数	55,275	ページビュー数　152,404
2023（R5）年度	訪問数	117,096	ページビュー数　292,424
2024（R6）年度	訪問数	138,905	ページビュー数　296,740

	▼Facebook 年間ページビュー数 2020（R2）年度　34,985 2021（R3）年度　19,925 2022（R4）年度　219,738 2023（R5）年度　8,318 2024（R6）年度　1,086,000 ▼Instagram 年間ページビュー数 2021（R3）年度　11,489　＊2021 年 11 月開設 2022（R4）年度　193,702 2023（R5）年度　3,450 2024（R6）年度　125,000
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** ○当協会に参画する地域の多様な関係者（観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、飲食事業者、行政等）と緊密な連携をとり、運営していく。 ○幅広い分野の関係団体の代表者で構成する理事会において、戦略の策定や見直し、受入環境の整備、戦略の整合性に関する調整や仕組みづくり等について、意見交換と意思決定を行う。 ○当協会の会長、副会長、各部会長、及びマーケティング責任者をはじめ、各部門の責任者と宇部市観光交流課で構成するミーティングを毎月１回開催し、事業の進捗や結果報告をもとに、評価・検証を行うことで、ＰＤＣＡサイクルを確立し、より効率的な協会運営・事業運営を図っていく。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

宇部市全域

【区域設定の考え方】

宇部市は、山口県の空の玄関口である山口宇部空港をはじめ、山陽自動車道等の高速道路網、大型クルーズ船も着岸できる宇部港、山陽新幹線新山口駅や厚狭駅にも近いなど、国内外からの交通アクセスに恵まれている。

当協会ではこの優位性を活かし、本市最大の観光施設である「ときわ公園」を中心に「緑と花と彫刻のまち」である本市の魅力の発信、「ものづくり」のまちの特性や、自然、文化、スポーツ、歴史、食の地域資源を活かした着地型旅行商品の開発、学会、スポーツ大会などの MICE の誘致、宇部まつりや花火大会等の魅力あるイベントの開催等により、行政、関係団体等と連携して観光誘客を図ってきたところである。

また、海外や首都圏などからの観光誘客には、山口県や一般社団法人山口県観光連盟（やまぐちＤＭＯ）、近隣市等と連携し、文化、スポーツ、アート、産業などのテーマ別観光の推進やデータ等に基づく顧客視点に立った、旅行商品の開発、周遊パスの企画、情報発信・プロモーションなどの取組を進めていく。

【観光客の実態等】

宇部市への観光客数　　（＊出典：山口県観光客動態調査）

年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
観光客数	1,708,418	1,827,558	1,099,698	1,178,819	1,436,503	1,725,803	1,884,779

新型コロナウイルス感染症の影響により、、観光客数、延べ宿泊者数、旅行消費額とも落ち込んだが、回復傾向にあり、2024 年は、観光客数、旅行消費額は過去最高となった。宇部市を訪れる観光客の約 80%が県内からである。宿泊においてはシングル比率が高い（平均 88%程度）。宿泊単価は 2019 年比およそ 1,800 円アップ。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光施設　ときわ公園（ときわ動物園、世界を旅する植物館、ときわ遊園地、石炭記念館、ＵＢＥビエンナーレ彫刻の丘等）、楠こもれびの郷（くすくすの湯、楠四季菜市、農家レストランつつじ、古民家倉 sou 等）

商業施設・産業観光　産業観光バスツアー、楠こもれびの郷、うべ新鮮市場元気一番、山口県産業技術センター、たましげ琴製作所、赤間硯の里、永山本家酒造場、藤河内茶園

自然　ときわ公園（常盤湖）、小野湖、吉部の大岩郷、キワ・ラ・ビーチ、霜降山、荒滝山、アクトビレッジおの、吉部フォレストクラブ

歴史・文化　野外彫刻、村野藤吾建築（渡辺翁記念会館、ヒストリア宇部等）、琴崎八幡宮、岡崎八幡宮、宗隣寺、瑞松庵、福原史跡公園、北向地蔵、大棚トンネル、ときわ公園（世界かんがい施設遺産）、馬場良治集估館、学びの森くすのき

スポーツ　ゴルフ場、ＣＯＣＯＬＡＮＤ（フットサル場、レジャープール、体育館ほか）、ときわ公園（周遊園路、グランドゴルフほか）、恩田運動公園他スポーツ施設、中央公園（テニスコート）

イベント　宇部市お茶まつり、新川市まつり、宇部市花火大会、ＵＢＥビエンナーレ、宇部まつり、ＴＯＫＩＷＡファンタジア、まちじゅうエヴァンゲリオン、ＵＢＥ ＵＲＢＡＮ ＳＰＯＲＴＳ ＦＥＳ

温泉　楠こもれびの郷、持世寺片倉温泉

食　瀬戸内海の水産物、宇部ラーメン、お茶、かまぼこ、地酒、和菓子、うべ元気ブランド商品

➢ 観光資源と地域産業・地域コミュニティを活用して、“宇部ならでは”の魅力的な体験プログラム、着地型旅行商品を開発、販売。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地域	施設タイプ	ホテル	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾎﾃﾙ	簡易宿所	民泊	*その他施設	合計
宇部新川駅エリア	施設数（軒）	1	9	ー	ー	ー	10
	客室数（室）	102	519	ー	ー	ー	621
	収容人数（人）	157	848	ー	ー	ー	1,005
東新川駅 琴芝駅エリア	施設数（軒）	ー	6	ー	ー	1	7
	客室数（室）	ー	223	ー	ー	30	253
	収容人数（人）	ー	336	ー	ー	30	366
宇部駅エリア	施設数（軒）	ー	2	ー	ー	ー	2
	客室数（室）	ー	88	ー	ー	ー	88
	収容人数（人）	ー	130	ー	ー	ー	130
郊外	施設数（軒）	1	1	3	3	2	10
	客室数（室）	50	203	3	4	10	270
	収容人数（人）	144	263	12	14	100	533
合計	施設数（軒）	2	18	3	3	3	29
	客室数（室）	152	1,033	3	4	40	1,232
	収容人数（人）	301	1,577	12	14	130	2,034

*その他施設：カプセルホテル、ユースホステル、研修施設

【利便性：区域までの交通、域内交通】

■区域までの交通

航空機の場合	山口宇部空港から	・タクシーで約 10 分 ・バスで約 15 分	＊羽田便 1 日 10 往復 （片道約 90 分）
ＪＲの場合 （新幹線）	ＪＲ新山口駅から	・特急バスで約 40 分 ・ＪＲ宇部線で約 50 分	
	ＪＲ厚狭駅から	・ＪＲ宇部線等で約 35 分	
車の場合	山陽自動車道宇部 IC から	・車で約 15 分	

■域内交通

鉄道	ＪＲ山陽本線、ＪＲ宇部線（本数が少ない）
路線バス	宇部市営バス、船鉄バス（市街地の主要路線以外は本数が少ない）
めぐりーな （循環バス）	約６０分で市内の所要箇所を一周 （ＪＲ宇部新川駅～ときわ公園～山口宇部空港～フジグラン宇部～市役所～ＪＲ宇部新川駅）
観光タクシー	《料金例》小型タクシーの場合 ２時間：１２，４００円～、３時間１８，６００円～

【外国人観光客への対応】

■多言語対応（多言語表記、多言語案内、Voice Tra の活用）
■多言語観光案内標識の整備
■キャッシュレス決済の環境整備
■無料公衆無線ＬＡＮの環境整備
■免税店の整備促進
■ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所の設置
■外国人観光客へのおもてなし、ローカルガイド
■ウェブサイト、パンフレット、マップの多言語化　※英語、韓国語、中国語（繁体、簡体）

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	動向分析、経済効果の把握、 施策評価、戦略立案	山口県観光客動態調査、 アンケート調査（自主事業）
延べ宿泊者数	推移把握、効果測定、戦略立案	山口県観光客動態調査、 ＯＴＡデータ
来訪者満足度	要因分析、施策評価、戦略立案	アンケート調査（自主事業）
リピーター率	動向把握、施策評価、戦略立案	アンケート調査（自主事業）
観光客数	推移把握、効果測定、戦略立案	山口県観光客動態調査
コンベンション延べ参加者数	効果測定、施策評価	山口県観光客動態調査 主催者等への調査
ウェブサイトへのアクセス （訪問数）	動向把握、効果測定、戦略立案	ウェブサイト集計機能
住民満足度	理解度測定、施策評価	宇部市市民意識調査

様式１

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

宇部市の人口は１９９５年の１８２，７６５人から減り続け、人口減少、少子高齢化の問題に直面している。今後の生産年齢人口減少に伴う地域経済の衰退には、早急な対策が必要であり、観光交流人口による経済効果の増大は喫緊に取り組むべき課題である。観光地域づくり法人（ＤＭＯ）である、一般社団法人宇部観光コンベンション協会は、市と連携し、交流人口増のため、市全体を巻き込んでの観光による地域づくりに取り組んでいるところでいるが、特に市内での旅行消費額を増やすため、市内での滞在時間を伸ばすことが重要であり、ときわ公園を中心として市内観光施設の磨き上げにより、市内での回遊を促進している。また、宇部市の認知度を高めることで、市民の地域への誇りと愛着を醸成するとともに、関係人口の増加にもつなげることとしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** 〇広域交通拠点による本市までのアクセス 〇世界で最も古い歴史を誇る、 「ＵＢＥビエンナーレ(現代日本彫刻展)」 ※最も長く続いている野外彫刻展として、ギネス世界記録™に認定 〇常設展示の約２００点の野外彫刻 〇産業を活かした観光コンテンツ 〇ホテルタイプの宿泊施設の収容力 〇多種多様な飲食店の存在 〇高等教育機関の集積 〇スポーツ施設の充実	**弱み（Weaknesses）** ●二次交通、市内公共交通の利便性の欠如 ●来訪者を歓迎する受入環境（ｿﾌﾄ・ﾊｰﾄﾞ）及び旅行者を意識したサービスの欠乏 ●宿泊施設のバリエーションの乏少 ●市内最大のコンベンションホールの再開の見通しが不透明 ●“らしさ”“ならでは”のコンテンツの不足 ●代表的な「食」「特産品」「土産品」の不足 ●認知度・関心度の低さ、情報発信の不達 ●観光に関するマインドの低迷 ●人材不足 ・後継者不足、生産者の高齢化 ・バスやタクシーのドライバー不足 ・専門人材確保、人材育成の遅れ ●観光ＤＸ化への対応
外部環境	**機会（Opportunity）** 〇広島県、福岡県に隣接 〇宇部市ゆかりの著名人のメディア露出 〇「住みたい田舎ベストランキング」連続で上位にランクイン 〇山口県央連携都市圏域の取組 〇山口市が The New York Times「52 Places to Go in 2024」に選出 〇大阪・関西万博開催（2025 年） 〇山口県でデスティネーションキャンペーン開催（2026 年） 〇国際チャーター便の復活（韓国・台湾）	**脅威（Threat）** ●人口減少、少子高齢化 ●インバウンドを含む、地域間競争の激化 ●宇部市内唯一の都市型ホテルの閉館

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○【国内】第１ターゲット層　　福岡県及び広島県の個人・グループ

■選定の理由

県外からの来訪者は全体約２０％である。今後、来訪者数の大幅な増加を図るためには、県外からの誘客が重要。隣接する福岡県及び広島県は大きな市場であり、特に高速道路や新幹線でのアクセスも比較的良好であることから、効果的に情報発信を実施し、新規及びリピーターの獲得を図ることで、十分な効果が期待できる。

■取組方針

データや調査の分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、ＯＴＡでの販売を含むデジタルマーケティング、プロモーションを展開する。さらに来訪者が市内の回遊度を高め、滞在時間の拡大及び宿泊増加につながるよう整備を図る。

○【国内】第２ターゲット層　　首都圏の個人・グループ（観光客・ビジネス客）

■選定の理由

延べ宿泊者数のうち約７０％が近隣エリア（県内、九州地方、中国地方）からの来訪者で、次いで関東エリアからの来訪者が約１０％である。山口県の空の玄関口である山口宇部空港は市街地から車で約１０分の距離にあり、羽田便が１日１０往復運行されているため、首都圏からのアクセスも良好である。空港利用者が県内各地への来訪が目的であっても、首都圏からのゲートウェイとなる当市の利点を活かした誘客が期待できる。また宿泊においてはシングル比率が８８％で、ビジネス客層が多いことも特徴である。

■取組方針

データや調査の分析結果に基づいて誘客及びビジネス客層のクロスセルにつながるコンテンツを開発し、ＯＴＡでの販売を含むデジタルマーケティング、プロモーションを展開する。

○【国内】第３ターゲット層　　国内ＭＩＣＥ誘致（300～500 人規模）

■選定の理由

宇部市内には、山口大学医学部、工学部をはじめとした高等教育機関が集積しており、学会や研究会、スポーツ大会等のニーズが高く、これまでも多くの開催実績がある。ＭＩＣＥ開催は来訪者による宿泊、飲食、関連イベント等の開催などを通じて地域への経済波及効果も高く、宇部市の名前が広域に発信され、知名度向上も期待できる。

■取組方針

行政や関係団体（宿泊事業者、飲食事業者、交通事業者等）との連携によるＭＩＣＥ開催支援システムを確立する。大学・高専関係者との情報交換会の実施やＭＩＣＥ開催検討団体等との情報交換により、広域的な情報収集力の強化を図る。

○【海外】第１ターゲット層　　東アジア（台湾・香港）の訪日ヘビーリピーターの個人・グループ

■選定の理由

ＪＮＴＯによると２０２４年の訪日外国人旅行者数のうち、台湾及び香港からの来訪者は全体の約２４%を占めており、今後も増加が見込まれる。また、台湾や香港からの訪日客はリピート希望が高い（観光庁）ため、ゴールデンルート以外の地方都市でも需要拡大が期待できる。更に台湾とのチャーター便が 2023 年から再開され、毎年運航していることも、選定の大きな要因。

■取組方針

データや調査の分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、山口県等と連携して、デジタルマーケティングや“コネ”づくりを展開して販路開拓を図る。コンテンツ開発においては台湾を主要ターゲットとする地域間競争の激化が予想されるため、他地域との差別化を図っていく。

○【海外】第２ターゲット層　　欧米諸国の訪日リピーターの個人・グループ
■選定の理由 　訪日外国人旅行者数のうち、欧米諸国からの来訪者は約１４％（ＪＮＴＯ）であり今後も増加が見込まれる。訪日未経験者が多い市場であるが、市場の訪日旅行経験の伸びしろと、今後の訪日リピーターの地方エリアへの訪問意向の高まりに期待する。一般的に、旅行消費額が高いターゲット層であり、経済効果も期待できる。 ■取組方針 　データや調査の分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを開発し、山口県等と連携して、デジタルマーケティングや“コネ”づくりを展開して販路開拓を図る。持続可能な観光（サステナブルツーリズム）へのニーズが比較的高い地域であることから、サステナブルツーリズムの取組を推進していく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「緑と花とアートにあふれるグローバル・シティうべ」
②コンセプトの考え方	宇部市は１９５０年代、戦災復興や工業都市としての発展と引き換えに発生した「世界一灰の降る街」という公害問題を全市民が一体となった「宇部方式」といわれる独自の公害対策の取り組みにより克服した。 公害克服の過程で市民運動として広がった「花いっぱい運動」や「宇部を彫刻で飾る運動」が現在の「花壇コンクール」と「ＵＢＥビエンナーレ（現代日本彫刻展）」につながり、宇部市のキャッチフレーズ「緑と花と彫刻のまち」の礎となっている。この独特なまちづくりの歴史、全国に誇れる独自の「まちづくりのドラマ」こそが宇部市の財産であり、地域資源でもある。自然や環境、産業、アート、建築等、まちづくりと結び付けることが出来る、ストーリー性の高い素材に恵まれている。 この「まちづくりのドラマ」を最大限活かすとともに「緑と花と彫刻のまち」のシンボルである「ときわ公園」を中心に「アートによるまちづくり」を発展させていく。さらに、工業都市としての特性を活かした産業観光、瀬戸内の海や中山間地域の豊かな自然に育まれた農水産物など、宇部市の誇る多彩な地域資源を磨き、国内外に広く情報発信していく。 また、「宇部方式」は、「産・官・学・民」の四者が相互信頼と役割分担による連携により“自分たちの地域社会は自分たちで”という自治意識のもと、科学的調査データに基づく話し合いによる対策を第一として地域ぐるみの自主的な活動を基本理念としている。「宇部方式」は現在においても、国際的に高く評価され、世界各国が直面している環境問題に有効な先駆事例としてアジアへ、そして広く世界へ発信している。 当協会も「宇部方式」の基本理念にならい、観光による地域まちづくりを推進していく。

様式１

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	総会、理事会、ミーティング、フォーラム、セミナー、ワークショップ
	○地域の多様な関係者が参画する総会（年１回）と、幅広い分野の関係団体（観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、行政、文化・スポーツ関係者、飲食事業者、商工団体等）の代表者が参画する理事会（年４回程度）において、観光地域づくりの取組の方向性や戦略について情報共有を図る。 ○当協会の会長、副会長、各部会長、及びマーケティング責任者をはじめ、各部門の責任者と宇部市観光交流課で構成するミーティングを毎月１回開催し、事業の進捗や結果報告をもとに、戦略との整合性に関する調整を行う。 ○当協会を中心として、コミュニケーションの場（セミナーやフォーラム、ワークショップ）を設けて、関連事業者や地域住民へ戦略の共有を図る。（年２回程度）
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	■観光人材に係る認定制度を実施 【うべ観光ソムリエ】 うべの魅力を案内・説明出来る人材を認定。ホスピタリティの向上を図り、まち全体でおもてなしの機運を高める。 【グローバル観光タクシー認定ドライバー】 おもてなし研修を受講、修了したドライバーを認定。訪日外国人旅行者に対してサービスレベルの向上を図る。 【インバウンド対応ローカルガイド（英語）】 宇部の魅力を熱意と誇りを持って語れるローカルガイドを育成。養成講座（全８回）修了後の試験合格者を認定。ローカルガイドで誘客促進チームを結成。 ■人材育成セミナーの開催 ■来訪者満足度調査の実施及び分析
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	■協会公式ウェブサイトの整備 ・協会公式ウェブサイト「うべ旅ナビ」の多言語化 ※言語：英語、韓国語、中国語（繁体、簡体） ・協会公式ウェブサイト「うべ旅ナビ」のスマートフォン対応 ・協会公式インバウンド専用ウェブサイト（英語版） ■ＳＮＳ、ＯＴＡ等を利用した効果的なプロモーションの実施 ・協会公式ＳＮＳ（Facebook、Instagram、YouTube） ・協会公式インバウンド向け Instagram（英語版） ・ＳＮＳ広告配信 ・ＯＴＡ運用 ■主要交通拠点の観光案内所の活用 ■広告媒体を活用した情報発信 ■ファムトリップの実施 ■商談会・イベント等への参加、出展 ■広域連携・地域連携等による情報発信

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	8,600	9,500	11,000	15,800	16,700	17,700
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	10,510	13,324	14,915			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	220	240	280	300	300	310
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	214	242	307			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●来訪者満足度（%）	目標	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0	80.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	66.5	70.5	70.5			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	45.5	47.0	46.4			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
宇部市観光交流アクションプラン（２０２２年３月策定／計画期間：５年間・２０２２年４月～２０２７年３月）における方針や施策との整合性を図りながら検討を行っているが、宇部市観光交流アクションプランにおいて設定された戦略指標の観光客数の目標値は 令和６年に達成しているため、観光客数の影響が大きいものは、令和７年度の宇部市観光交流課の課方針書の目標値を参考にしている。
【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
旅行・観光消費動向調査、観光実態調査等を基に算出した、本市への２０１６（H28）年の旅行消費額推計をベースに、課方針書の観光客数の伸び率を加味し、目標値とした。
●延べ宿泊者数
ホテルの新設等による近年の増加傾向や新型コロナウイルス感染症からの回復傾向を考慮し、宇部市観光交流アクションプラン及び課方針書を参考に、目標値とした。
●来訪者満足度
２０２０（R2）年及び２０２１（R3）年に実施した観光実態調査において、５段階評価における「やや満足」以上とした比率（７０%前後）を基準として７０%以上を目指すとともに「満足」の比率を高める。
●リピーター率
過去３年に実施した観光実態調査において、１年間に２回以上宇部市に来訪した人の比率（６０%前後）を基準として６０%以上を目指す。一方で新規来訪者の誘客にも注力する。

様式１

（２）その他の目標

指標項目		2022 （Ｒ４） 年度	2023 （Ｒ５） 年度	2024 （Ｒ６） 年度	2025 （Ｒ７） 年度	2026 （Ｒ８） 年度	2027 （Ｒ９） 年度
●観光客数 （千人）	目標	1,400	1,500	1,600	2,000	2,120	2,250
		(1)	(5)	(10)	(20)	(21)	(22)
	実績	1,436	1,726	1,885			
		(2.6)	(30)	(18)			
●コンベンション延べ参加者数 （人）	目標	2,000	4,000	8,000	10,000	12,000	14,000
		(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績	2,236	4,310	3,323			
		(　)	(　)	(　)			
●ウェブサイトへのアクセス（訪問数） （件）	目標	110,000	120,000	130,000	140,000	150,000	160,000
		(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績	55,275	117,096	138,905			
		(　)	(　)	(　)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

宇部市観光交流アクションプラン（２０２２年３月策定／計画期間：５年間・２０２２年４月～２０２７年３月）における方針や施策との整合性を図りながら検討を行っているが、宇部市観光交流アクションプランにおいて設定された戦略指標の観光客数の目標値は 令和６年に達成しているため、令和７年度の宇部市観光交流課の課方針書を参考にしている。

【設定にあたっての考え方】

●観光客数

２０２６（R8）年度までに新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に到達することを想定して、２０２２（R4）年を基準値として、毎年、対前年１０万人増を目指し設定したが、２０２４（R6）に到達したため、市では２０２５（R7）の目標値を見直した。２０２４（R6）実績から２０２５（R7）目標値への伸び率６%により、２０２７（R9）までの目標値を設定した。

●コンベンション延べ参加者数

２０２６（R8）年度までに新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に到達することを想定して設定した、宇部市観光交流アクションプランの２０２６（R8）の目標にあわせ、毎年対前年２，０００人増を目指す。

●ウェブサイトへのアクセス(訪問数)

情報発信内容の充実、多言語化対応などにより、２０２１（R3）年の実績を基準値として、毎年対前年１０，０００件増を目指す。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度 実績	53,625,716（円）	【国からの補助金】 9,901,822（円） 【県からの補助金】 2,368,000（円） 【市からの補助金】 24,318,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 13,940,385（円） 【会費収入】 2,481,000（円） 【その他の収入】 616,509（円）
2023（Ｒ５）年度 実績	51,110,814（円）	【国からの補助金】 3,778,510（円） 【県からの補助金】 368,000（円） 【市からの補助金】 31,500,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 12,764,622（円） 【会費収入】 2,290,500（円） 【その他の収入】 409,182（円）
2024（Ｒ６）年度 実績	47,969,669（円）	【国からの補助金】 0（円） 【県からの補助金】 0（円） 【市からの補助金】 34,100,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 10,671,000（円） 【会費収入】 2,319,000（円） 【その他の収入】 879,669（円）
2025（Ｒ７）年度 予算	42,056,000（円）	【国からの補助金】 0（円） 【県からの補助金】 0（円） 【市からの補助金】 34,695,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 4,450,000（円） 【会費収入】 2,400,000（円） 【その他の収入】 511,000（円）
2026（Ｒ８）年度 見込	42,561,000（円）	【国からの補助金】 0（円） 【県からの補助金】 0（円） 【市からの補助金】 35,000,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 4,450,000（円） 【会費収入】 2,600,000（円） 【その他の収入】 511,000（円）
2027（Ｒ９）年度 見込	43,061,000（円）	【国からの補助金】 0（円） 【県からの補助金】 0（円） 【市からの補助金】 35,500,000（円） 【収益事業（委託料含む）】 4,450,000（円） 【会費収入】 2,600,000（円） 【その他の収入】 511,000（円）

様式１

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度 実績	55,144,133（円）	【一般管理費】	34,189,806（円）
		【事業費】	20,883,327（円）
		・コンベンション部会	1,971,006（円）
		・観光推進部会	14,748,778（円）
		・イベント部会	2,661,451（円）
		・広報交流部会	1,502,092（円）
		【その他の支出】	71,000（円）
2023（Ｒ５）年度 実績	50,481,170（円）	【一般管理費】	33,777,483（円）
		【事業費】	16,632,687（円）
		・コンベンション部会	3,582,739（円）
		・観光推進部会	11,020,015（円）
		・イベント部会	405,000（円）
		・広報交流部会	1,624,933（円）
		【その他の支出】	71,000（円）
2024（Ｒ６）年度 実績	46,737,724（円）	【一般管理費】	34,429,491（円）
		【事業費】	11,310,522（円）
		・コンベンション部会	4,444,109（円）
		・観光推進部会	4,788,287（円）
		・イベント部会	350,000（円）
		・広報交流部会	1,728,126（円）
		【その他の支出】	997,711（円）
2025（Ｒ７）年度 予算	42,056,000（円）	【一般管理費】	33,385,000（円）
		【事業費】	8,600,000（円）
		・コンベンション部会	3,680,000（円）
		・観光推進部会	3,250,000（円）
		・広報交流部会	1,670,000（円）
		【その他の支出】	71,000（円）
2026（Ｒ８）年度 見込	42,561,000（円）	【一般管理費】	33,890,000（円）
		【事業費】	8,600,000（円）
		・コンベンション部会	3,680,000（円）
		・観光推進部会	3,250,000（円）
		・広報交流部会	1,670,000（円）
		【その他の支出】	71,000（円）
2027（Ｒ９）年度 見込	43,061,000（円）	【一般管理費】	34,390,000（円）
		【事業費】	8,600,000（円）
		・コンベンション部会	3,680,000（円）
		・観光推進部会	3,250,000（円）
		・広報交流部会	1,670,000（円）
		【その他の支出】	71,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

当協会の体制充実強化を図ることにより、観光関連の「人」、「金」の好循環が生まれる仕組みを確立し、会費収入、市からの受託収入のほか、着地型旅行商品の開発販売等、安定した運営資金を確保する。

■新規会員の開拓及び会費口数の増加
■第３種旅行業登録を活用した着地型旅行商品の開発販売
■インバウンド向け体験コンテンツの開発販売、及びワンストップ窓口の活用
■宇部市等からの委託事業収入の拡大
■物販事業の拡大
■魅力あるウェブ発信による広告収入の拡大

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

宇部市は、観光による地方創生の実現に向けて、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、一般社団法人宇部観光コンベンション協会が、その役割と機能を発揮していくことが必要であると考えている。

宇部市は、一般社団法人宇部観光コンベンション協会を宇部市における「地域ＤＭＯ」として登録したいので、一般社団法人宇部観光コンベンション協会とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	庄賀　美和子
担当部署名（役職）	事務局（専務理事・事務局長）
郵便番号	７５５－００３１
所在地	山口県宇部市常盤町一丁目 6 番 44 号
電話番号（直通）	０８３６－３４－２０５０
ＦＡＸ番号	０８３６－２９－３３０３
Ｅ－ｍａｉｌ	usca@ube-kankou.or.jp

様式１

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	宇部市
担当者氏名	林　美佐
担当部署名（役職）	観光スポーツ文化部観光交流課（課長）
郵便番号	７５５－８６０１
所在地	山口県宇部市常盤町一丁目７番１号
電話番号（直通）	０８３６－３４－８３５３
ＦＡＸ番号	０８３６－２２－６０８３
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@city.ube.yamaguchi.jp

（登録）【地域DMO】一般社団法人宇部観光コンベンション協会

様式２

記入日：　令和　7年　7月　1日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】　山口県宇部市
【設立時期】　平成8年（1996年）6月
【設立経緯】　③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】　柳田 英治（会長）
【マーケティング責任者（CMO）】　佐々木 正志
【財務責任者（CFO）】　庄賀 美和子
【職員数】　6人（常勤6人（正職員3人・出向等3人）、非常勤0人）
【主な収入】
補助金・助成金（国・県・市）34百万円、
収益事業10百万円、会費収入2百万円（令和6年度決算）
【総支出】
事業費12百万円、一般管理費34百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
宇部旅館ホテル生活衛生同業組合、山口県飲食業生活衛生同業組合宇部支部、（公財）宇部市常盤動物園協会、宇部商工会議所、山口県赤間硯生産協同組合、小野茶業組合、㈱永山本家酒造場、楠むらづくり㈱、宇部市交通局、船木鉄道㈱　等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	8,600（　）	9,500（　）	11,000（　）	15,800（　）	16,700（　）	17,700（　）
	実績	10,510（　）	13,324（　）	14,915（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	220（　）	240（　）	280（　）	300（　）	300（　）	310（　）
	実績	214（　）	242（　）	307（　）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	70.0（　）	70.0（　）	75.0（　）	75.0（　）	80.0（　）	80.0（　）
	実績	66.5（　）	70.5（　）	70.5（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	60.0（　）	60.0（　）	60.0（　）	60.0（　）	60.0（　）	60.0（　）
	実績	45.5（　）	47.0（　）	46.4（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
○福岡県及び広島県の個人・ｸﾞﾙｰﾌﾟ
○首都圏の個人・ｸﾞﾙｰﾌﾟ（観光・ﾋﾞｼﾞﾈｽ）
○国内MICE誘致（300～500人規模）
○訪日ﾘﾋﾟｰﾀｰの個人・ｸﾞﾙｰﾌﾟ
①東ｱｼﾞｱ（台湾・香港）　②欧米諸国
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・ﾀｰｹﾞｯﾄ層に訴求するｺﾝﾃﾝﾂの開発
・ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾏｰｹﾃｨﾝｸや“ｺﾈ”づくりを展開
・ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ（ﾆｰｽﾞ、他地域との差別化）
【観光地域づくりのコンセプト】
「緑と花とｱｰﾄにあふれるｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｼﾃｨうべ」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・着地型旅行商品
「うべの魅せどころ」の開発
・ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ向けｺﾝﾃﾝﾂの開発
・ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙな観光ｺﾝﾃﾝﾂの造成
【受入環境整備】
・ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ向けﾛｰｶﾙｶﾞｲﾄﾞの育成
・人材育成ｾﾐﾅｰの開催、受講
・ｸﾞﾙﾒｶﾞｲﾄﾞ制作
・来訪者満足度調査の実施、分析
【情報発信・プロモーション】
・公式ｻｲﾄ「うべ旅ナビ」の多言語化
・公式ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ専用ｳｪﾌﾞｻｲﾄ
・公式SNS（Facebook、Instagram、YouTube、英語版Instagram）
・OTA運用、SNS配信広告
・ﾌｧﾑﾄﾘｯﾌﾟの実施
・商談会、ｲﾍﾞﾝﾄ等への参加
【その他】
・広域周遊観光
・ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙﾂｰﾘｽﾞﾑの検討
・山口型ﾜｰｹｰｼｮﾝ推進事業